

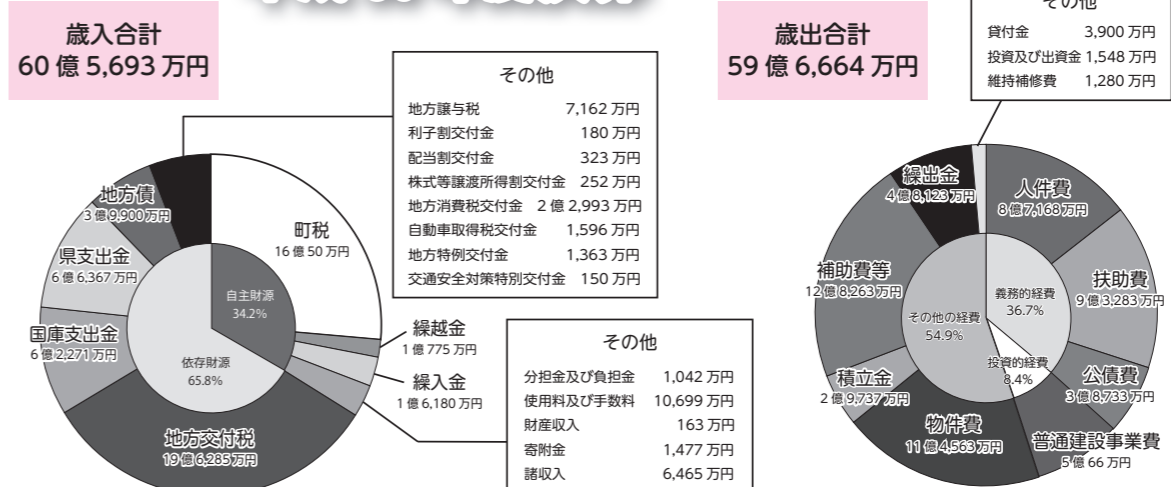
財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、令和元年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された平成30年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

財政用語の解説

- 【一般会計】**
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計。
- 【公債費】**
事業を行うために借入れたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金。
- 【普通建設費】**
道路、学校などの建設・整備に使われるお金。
- 【繰入金】**
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金。
- 【繰出金】**
各種基金や特別会計間などへ繰り出されるお金。
- 【地方交付税】**
自治体の財政力に応じて国から交付されるお金。
- 【町債】**
国や銀行などからの借入金。

平成30年度決算



前年度を上回る 大規模決算

平成30年度の一般会計決算は、道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業の事業費の増加などから、60億5,693万円と前年度決算額と比べて2億6,921万円増加し、依然として震災前を上回る決算となっています。

歳出の主な内容は、新ごみ処理場建設による須賀川環境組合への負担金4億3,930万円、道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業2億7,961万円が挙げられます。

一方、歳入の主な内容は、町民の皆さんから納めていただいた町税16億5,000万円、国から交付される地方交付税19億6,285万円、県支出金6億6,367万円、国庫支出金6億2,271万円などになります。町税の歳入に占める割合は、26.4%となっています。

【健全化判断比率】

- ①実質赤字比率**
一般会計などの実質収支が黒字のため該当なし。
- ②連結実質赤字比率**
一般会計などに公営企業会計を含めた実質収支が黒字のため該当なし。
- ③実質公債費比率**
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は、8.6%で前年度に比べ0.7ポイント減少。
- ④将来負担比率**
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合は、43.7%と前年度に比べ4.3ポイント増加。

鏡石町の財政健全化判断比率の公表

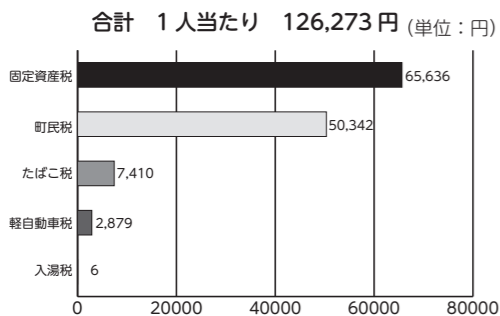
財政健全化判断比率の状況

指 標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	8.6%	25.0%
④将来負担比率	43.7%	350.0%

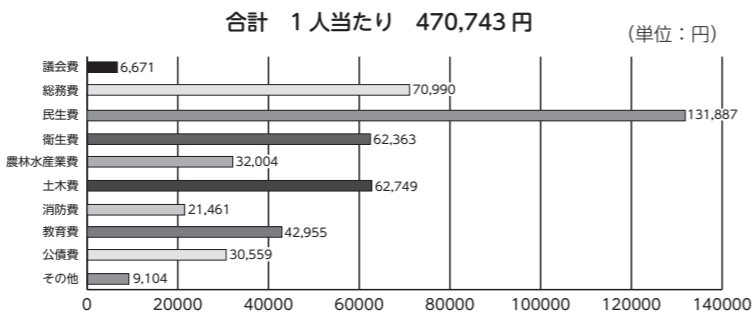
※平成30年度決算に基づく数値

会所建設費等に対する新規借入により4,796万円増加しました。今後も計画的な財政運営をしていく必要があります。

町民1人当たりの納めたお金



町民1人当たりに使われたお金



各会計町債残高の状況 (町の借金残高)

会計区分	町債残高
一般会計	51億8,760万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億8,285万円
公共下水道事業特別会計	32億4,072万円
農業集落排水事業特別会計	3億7,454万円
上水道事業会計	18億7,225万円
合計	109億5,796万円

平成30年度末現在

平成30年度各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	60億5,693万円	59億6,664万円
国民健康保険特別会計	14億7,166万円	13億2,594万円
後期高齢者医療特別会計	1億578万円	1億523万円
介護保険特別会計	10億978万円	9億8,754万円
土地取得事業特別会計	3,006万円	3,000万円
工業団地事業特別会計	4,752万円	4,695万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億4,794万円	1億4,709万円
育英資金貸付費特別会計	529万円	526万円
公共下水道事業特別会計	4億8,513万円	4億8,245万円
農業集落排水事業特別会計	6,704万円	6,618万円
小計	94億2,712万円	91億6,328万円
上水道事業会計	収益的	3億262万円
	資本的	1億9,123万円
	計	4億9,385万円
合計	99億2,097万円	96億7,009万円

※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

基金積立金現在高の状況 (町の貯金残高)

基金区分	現在高
財政調整基金	9億3,128万円
減債基金	4,083万円
役場庁舎新築事業基金	8億2,587万円
東日本大震災復興交付金基金	2,011万円
その他	9億8,218万円
合計	28億27万円

令和元年5月31日現在

令和元年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計	
一般会計	61億7,895万円	
国民健康保険特別会計	14億469万円	
後期高齢者医療特別会計	1億496万円	
介護保険特別会計	10億5,211万円	
土地取得事業特別会計	3,006万円	
工業団地事業特別会計	4,510万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億7,105万円	
育英資金貸付費特別会計	487万円	
公共下水道事業特別会計	5億218万円	
農業集落排水事業特別会計	7,986万円	
小計	95億7,383万円	
上水道事業会計	収益的	2億8,936万円
	資本的	9億90万円
	計	11億9,026万円
合計	107億6,409万円	

令和元年度 上半期予算状況

令和元年度予算については、平成29年度から引き続きいる道路等側溝堆積物撤去処理事業7億4,572万円といった原子力災害対策事業を実施しており、震災以降引き続き大規模な予算となっています。

その他の主な歳出内容は、橋りょう、道路等の整備を行う社会資本整備総合交付金事業として1億4,639万円、駅東口整備を行う進化する



側溝の堆積物撤去作業の様子

鏡石実行プロジェクトとして3,131万円、プレミアム付商品券事業2,873万円、幼児教育・保育無償化事業として1億916万円を計上しています。